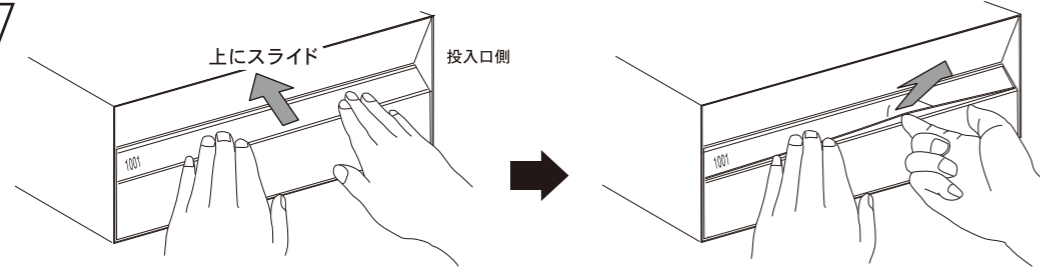


ネームプレートの設置方法

投入口側の下、部屋番号が記入された位置に透明シートが2枚入っています。
1枚はすでに部屋番号が記入されていますので、何も書かれていない透明シートにお名前を書くことができます。

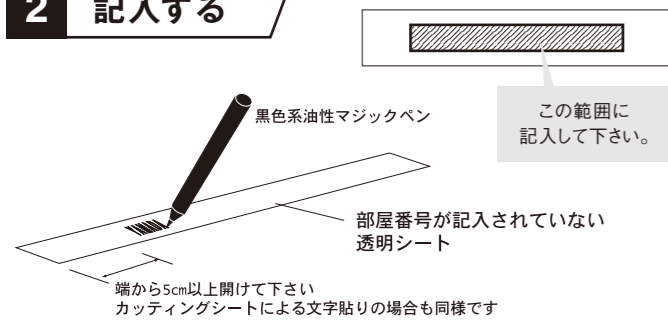
1 取り外す



透明シートの表面を指で軽く押しながら上にスライドさせます。

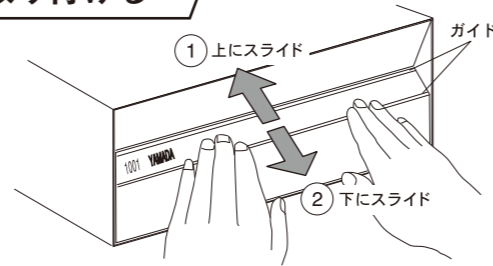
透明シートの下部を爪などで手前に引っかけるようにして取り外します。透明シートは2枚セットされていますので、この操作を2度繰り返して、2枚とも取り外してください。

2 記入する



何も記入されていない透明シートを取り外しましたら、上記の図の位置にお名前をご記入されるか、もしくはカッティングシートで文字貼りをしてください。

3 取り付ける

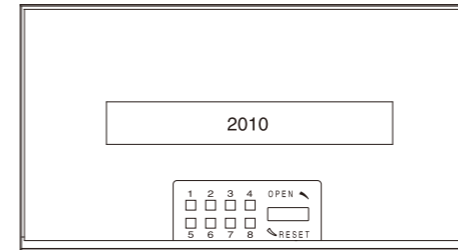


最初にお名前を記入した透明シートをガイドに押し当て、表面を指で軽く押しながら、ガイドの上の溝(上図参照)に透明シートが入るように上にスライドさせます。続いて、透明シートを押し当てたまま下にスライドさせ、セットします。次に部屋番号が記入された透明シートも同様の方法でガイドにセットしてください。

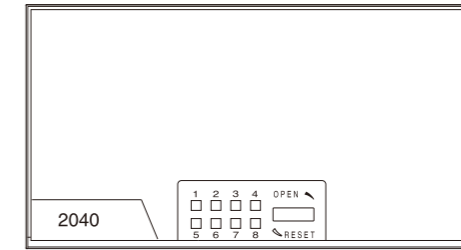
B-200/300シリーズ

メールボックス取扱説明書

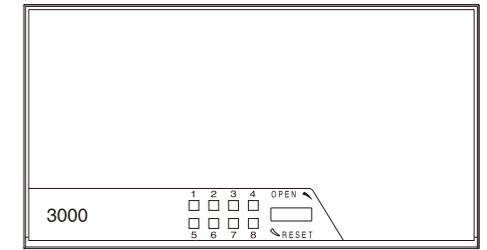
暗証番号を8桁まで設定可能なプッシュボタン式ロック



B-200シリーズ



B-204シリーズ



B-300シリーズ

使用上のお願い

- 必要以上に強い力で扉を閉めないでください。閉めた時の音が居住者の方々へのご迷惑になるとともに、本体や鍵を破損する恐れがあります。
- 扉やメールボックス本体の底面にぶら下がったり、物を掛けたりしないでください。変形や破損の原因になります。
- 貴重品や重要書類、鍵、危険物などの保管用として使用しないでください。
- 郵便物を溜めず、こまめに取り出すようにしてください。大量の郵便物が溜まると、本体の変形や破損の原因になります。
- お客様自身で、メールボックス本体および扉、鍵の分解修理をしないでください。使用上の不具合が発生した場合には、すみやかに管理人様もしくは管理会社様に連絡してください。
- お客様ご自身で設定された鍵の暗証番号をお忘れになった場合は、管理人様もしくは管理会社様に連絡してください。

メンテナンスについて

- 当メールボックスの扉などは焼き付け塗装仕上げもしくは、化粧シート(塩ビシート)貼りになっています。汚れた場合には、やわらかい布などで軽く拭き取るようにしてください。シンナーなどの溶剤や研磨剤入り洗剤、たわしやヤスリなどは使用しないでください。汚れがひどい場合には、中性洗剤を含ませたやわらかな布などで軽く拭き取り、洗剤や水分を十分に取り除いてください。

本製品の保証及び免責事項内容について

保証期間

竣工引き渡し日より2年間で製造上に起因する故障が生じた場合は、無償で修理いたします。

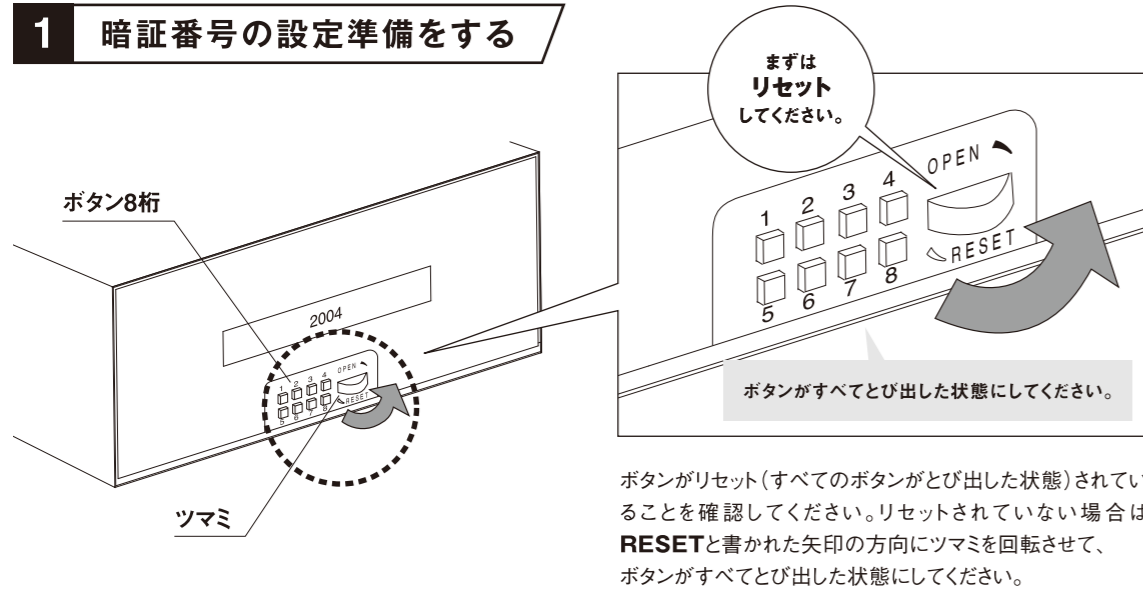
本製品は通常郵便の受箱とし、現金・有価証券・重要書類・宝石・貴金属等の貴重品、部屋の鍵等の保管に適していません。いかなる配達物・内容物であっても、本製品の故障の有無にかかわらず盗難あるいは紛失・損傷・汚染した場合、当社はその責任を負わないものといたします。なお、次の場合は保証期間中であっても「有償修理」と致します。

- 取り扱い上の不注意や不適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する損傷
- 専門業者以外による修理・分解などに起因する損傷
- 塗装の色あせなど経年変化、または使用に伴う摩耗などで生じる外観上の現象
- 犯罪などの不法行為に起因する不具合、損傷、盗難、損害
- 郵便物の溜め込みすぎによる錠や投入扉が開かなくなるなどの損傷
- 火災、落雷、地震、噴火、洪水、津波等天変地異または、爆発事故、暴動等破壊的行為による損傷
- 海岸付近や台風など空気環境、雨水に含まれる成分や工場、鉄道、道路周辺の大気に含まれる成分に起因するむらい錆、腐食、塗料の剥がれ、樹脂部分の変質、ひび割れ
- その他当社の責に帰すべき事由によらない損傷

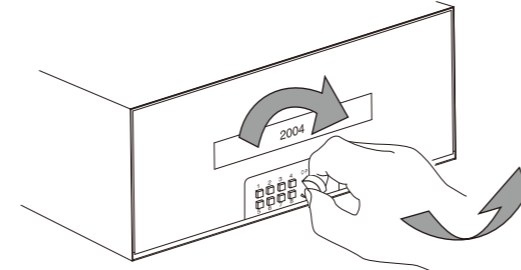
はじめに 当メールボックスの鍵は、初期状態は解錠されていますが、仮暗証番号が設定されている場合には施錠されています。その場合は、仮暗証番号を入力して解錠してから暗証番号を設定してください。

暗証番号 設定方法

1 暗証番号の設定準備をする



2 扉を開ける

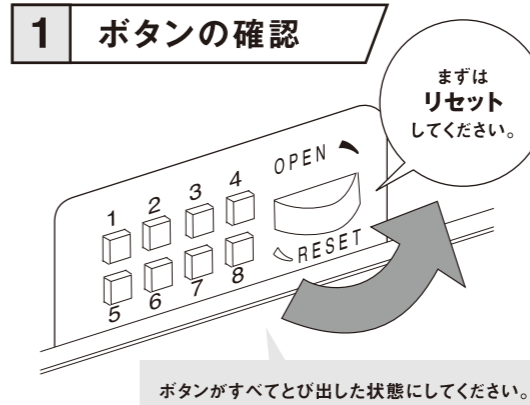


ツマミを**OPEN**と書かれた矢印の方向に回転させ、手前上部に扉を引き上げて開きます。

※仮暗証番号が設定されている場合は、仮暗証番号を押してから②の操作をしてください。

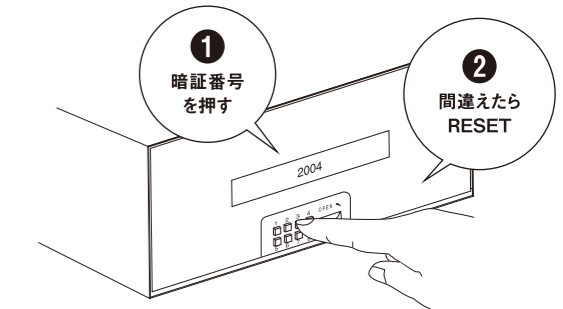
扉の開閉方法(暗証番号設定後)

1 ボタンの確認



ボタンがリセット(すべてのボタンがとび出した状態)されていることを確認してください。リセットされていない場合は**RESET**と書かれた矢印の方向にツマミを回転させて、ボタンがすべてとび出した状態にしてください。

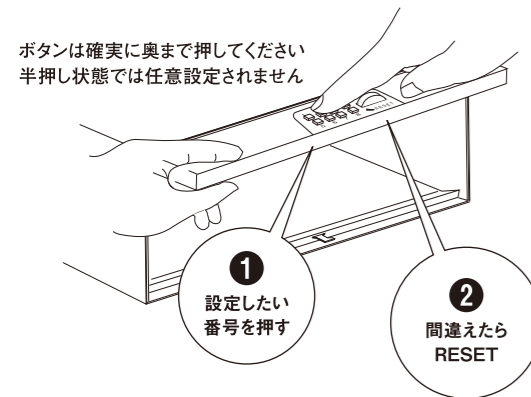
2 暗証番号を押す



①ご自身が設定した暗証番号のボタンを押します(押す順番は順不同)。
②押し間違えた場合は、**RESET**と書かれた矢印の方向にツマミを回転させて、ボタンがすべてとび出した状態に戻してから、再度暗証番号のボタンを押してください。

3 暗証番号の設定を開始する

! 扉を開けた状態で設定してください。

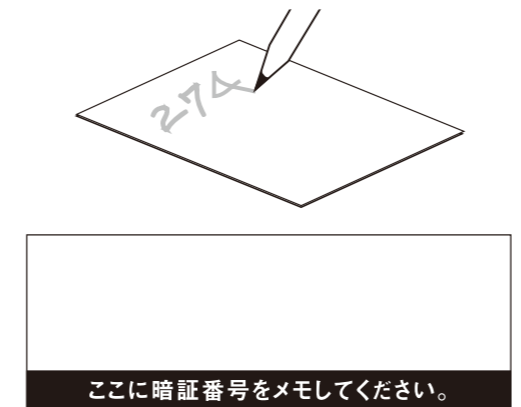


ボタンは確実に奥まで押してください
半押し状態では任意設定されません

①すべてのボタンがリセットされていることを確認した上で、扉が開いた状態のまま、お客様の任意の番号のボタンを押してください。
②番号を押し間違えた場合は、**RESET**と書かれた矢印の方向にツマミを回転させて、ボタンがすべてとび出した状態に戻して、再度、任意の番号のボタンを押してください。

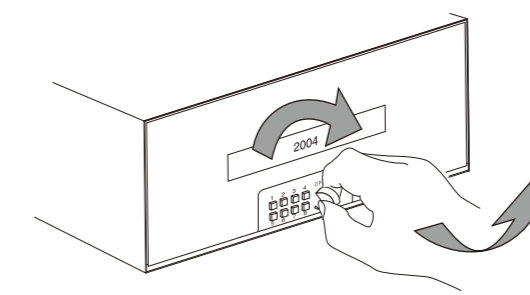
POINT 設定可能な桁数は1から8ですが、覚えやすい3から4桁をお勧めします。

4 暗証番号を控える



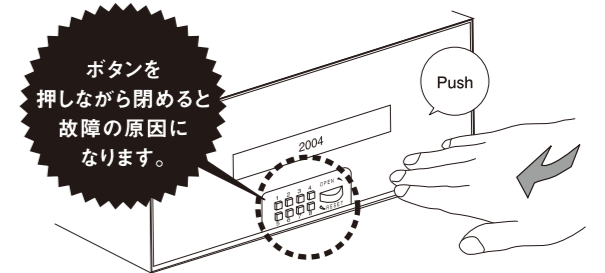
番号を設定できましたら、扉を閉める前に必ずメモしてください。

3 扉を開ける



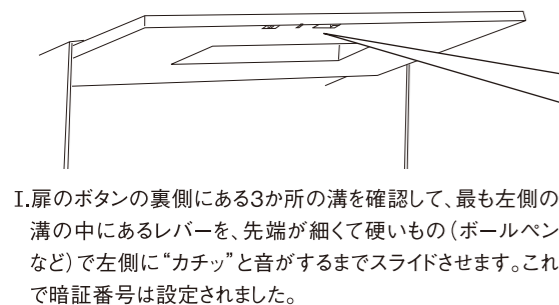
ボタンを押し終えたら、ツマミを**OPEN**と書かれた矢印の方向に回転させ、手前上部に扉を引き上げて開きます。

4 扉を閉じる



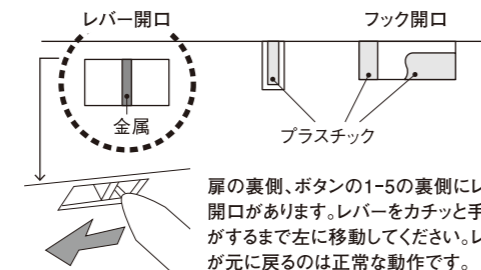
郵便物を取り出し、ボタンやツマミを避けて扉を手で押して閉め、「カチッ」と音がすれば自動的にロックされた状態になります。

5 暗証番号の設定を完了する



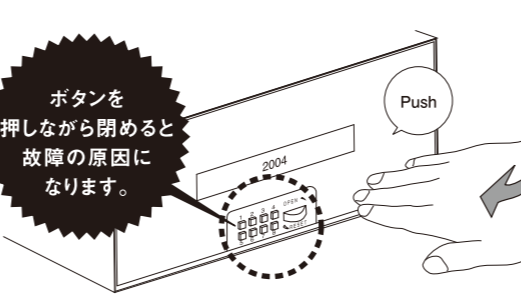
I.扉のボタンの裏側にある3か所の溝を確認して、最も左側の溝の中にあるレバーを、先端が細くて硬いもの(ボールペンなど)で左側に「カチッ」と音がするまでスライドさせます。これで暗証番号は設定されました。

【開いた扉の裏側を下から見た図】



扉の裏側、ボタンの1-5の裏側にレバー開口があります。レバーをカチッと手応えがするまで左に移動してください。レバーが元に戻るのは正常な動作です。

6 扉を閉じる

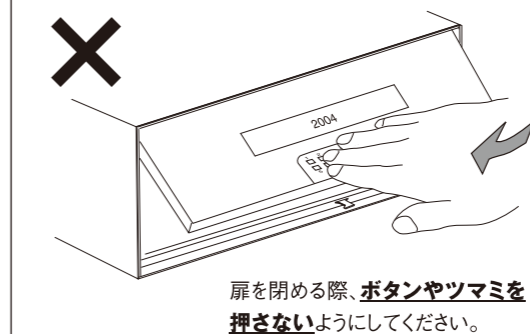


暗証番号の設定が完了したら、ボタンやツマミを避けて扉を手で押して閉め、「カチッ」と音がしてボタンがすべて復帰すれば自動的にロックされた状態になります。

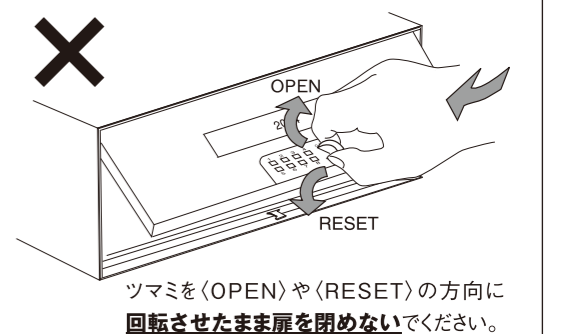
POINT 暗証番号の再設定方法

暗証番号は何度でも変更できます。変更する場合は、扉を開けた状態にして、左図の③~⑥の手順で設定してください。

注意事項



扉を閉める際、**ボタンやツマミを押さない**ようにしてください。



ツマミを<OPEN>や<RESET>の方向に**回転させたまま扉を閉めない**でください。

※どちらも故障の原因となります。

CHECK!
正しく設定されたか確認

II.扉が開いた状態のまま**RESET**と書かれた矢印の方向にツマミを回転させて、ボタンをすべてとび出した状態にします。そして、あらためて暗証番号を押して、ツマミを**OPEN**と書かれた矢印の方向に回転させ、回転すれば暗証番号が正しく設定されています。回転しない場合は設定ができていないので、手順③~⑤をやり直してください。